



暁の幕はあがる



教文短編演劇祭2019

テーマ「ショウ」 || [出演団体] ○星くざろんリネス(札幌) ○Gフランケン(札幌) ○空宙空地(名古屋) ○マイベース(札幌) ○Mike堂(金沢)

2019.8.31 [土] 14:00開演(13:30開場)

[会場] 札幌市教育文化会館 大ホール

主催:札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、教文演劇フェスティバル事務局 後援:札幌市、札幌市教育委員会 協力:日本劇作家協会北海道支部、d-SAP
助成:文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



札幌市教育文化会館



文才庁

教文演劇フェスティバル 2019

昨年の震災を乗り越え、令和元年度となる今年の演フェスは盛り沢山!! 大ホールによる短編演劇祭に加えて前日には初となるプレイベントを開催! ? 更に充実のワークショップも実施します! 今年の演フェスも見逃せない!

教文短編演劇祭 2019

8月31日[土] 14:00開演 13:30開場

[優勝特典]

●齊藤委員長の手作りチャンピオンベルト

[選択制特典]

○教文小ホールでの自主企画上演権 ※平日3日間を上限とする ○稽古場として利用可能な教文施設を10日間貸与 ※いずれの特典も利用時期が限定されています

上演時間は20分・勝負の行方は観客&審査員投票。

テーマ「ショウ」

道内外で活躍する劇団やユニットが今年のテーマ「ショウ」に関連した20分の短編作品を上演。観客投票+審査員投票で優勝を決めます。テーマの解釈は自由で、各劇団のオリジナリティ溢れる作品が見所です。前回チャンピオン「星くずロンリネス」と道内外から集結した4つの劇団による演劇バトル。勝負の行方はいかに!?

教文短編演劇祭2019の流れ

観る >>>

観客・ゲスト審査員による投票 + ゲスト審査員による講評 >>>



優勝劇団決定!

短編演劇祭2019 出場劇団

教文短編演劇祭2017 チャンピオン

星くずロンリネス

[札幌]

ヒーローシチョウ

作・演出：上田 龍成

農業が盛んな「島熊市」の市長は気弱な男。就任後、初の夏祭り。島熊のご当地ヒーロー「シマクマン」のショーを市民は楽しみに待っている。「…え?俺が入るの?」突如、ヒーローになった気弱な市長は、自分で考えたゆるキャラの力を借りて街のPRができるのか?! 星くずロンリネスによる、まちのコミカルヒーローショー!



星くずロンリネス プロフィール

2010年結成。北海学園大学演劇研究会出身の上田龍成による一人ぼっちの演劇ユニット。「芝居をより身近なものにしたい」との思いで札幌を中心に活動する。観劇初心者でも取っつき易いキャッチーなプレイスタイルと、言葉遊びなど無数の星のような小ネタが特徴。

Gフランケン

[札幌]

ドッキリ・タイムズ

作・演出：こさべ あきひろ

芸人のサザナミは後輩芸人とインタビューを受けている。サザナミは去年108回もドッキリにかけられたらしい。インタビューを終えて喫茶店を出ると、サザナミのもとに色々な災難が降りかかる。ふとサザナミはインタビューで出てきた話題が現実起こっていることに気づく。さあ、楽しい「ショウ」の始まりだ。



宇宙空地

[名古屋]

ショウアワセルフ

作・演出：関戸 哲也

夫婦が椅子に座っている。イライラし始める男を女が諭す「これから私たちのショウが始まるの」。男と女それぞれが生まれてから成長し、出会い、そしてその後の人生が、ハイスピードで展開する。気づいた頃にはもうショウは終わりにさしかかり…7本のスポットライトで見せるショウと言うにはあまりに慎まやかな人生。



マイペース

[札幌]

ラスト・ショウ

作・演出：八十嶋 悠介

芸歴16年目のお笑いコンビ『どさんこキング』の若村と春田は、才能の限界を認めつつあった。出番前の楽屋。春田が解散を告げる。戸惑う若村。出囃子が鳴る。得意とするシチュエーションコント漫才が始まる。なにがなんだかわからないけどこれはたぶん、最後の舞台。



Mike堂

[金沢]

おそらく地球は消滅します。

作・演出：工藤 舞

20XX年、地球に小惑星が接近していた。調査の結果、99.9%の確率で、地球に直撃すると予測された。その結果、おそらく地球は消滅する。一人の男は考えた。「最期くらい、本能の赴くまま生きてみたい。」男の考える本能、それは裸だった。裸の男は、一人の女と出会う。二人は最期の会話を交わしながら、人間としての生死について考える。



短編演劇祭2019 ゲスト審査員



石塚 慶生 (いしづか よしたか)

松竹・映画プロデューサー

1969年鳥取県生まれ。2003年、松竹に入社。映画プロデューサーとして、『子ぎつねヘレン』『植物図鑑』『ディストラクション・ベイビーズ』『こんな夜更けにバナナかよ』などを手がける。『わが母の記』は第35回モントリオール世界映画祭審査員特別グランプリ、第36回日本アカデミー賞12部門の優秀賞などを受賞した。プロデューサーとして、映画製作者に与えられる第32回藤本賞奨励賞を受賞。

司会

川井 J 竜輔

[役者]

札幌を中心にフリーで活動している役者。舞台、TV、ラジオ、イベントMC、等と精力的に活動中。



鴻上 尚史 (こうかみ しょうじ)

作家・演出家

1981年に劇団「第三舞台」を結成し、作・演出を手がける。現在はプロデュースユニット「KOKAMI@network」と若手俳優を集め旗揚げした「虚構の劇団」での作・演出を中心に活動。舞台公演の他には、エッセイスト、小説家、テレビ番組司会、ラジオ・パーソナリティ、映画監督など幅広く活動している。



戸田 恵子 (とだ けいこ)

女優・声優

愛知県出身。NHK名古屋放送児童劇団を経て、ドラマ「中学生群像」でデビュー。74年「あゆ朱美」の芸名で歌手デビュー。77年、野沢那智主宰の劇団「薔薇座」に加入し、89年の退団まで看板女優として活躍。以後女優として、三谷幸喜作・演出の舞台に数多く出演するほか、テレビドラマ、映画に出演。また声優としても「それいけ!アンパンマン」のアンパンマン役、多くの洋画吹替を務める。アルバム「ROUTE55」を出し歌手活動にも力を入れており、CDリリースやライブ活動も定期的に行っている。NHK連続テレビ小説「まれ」で語り、NHK「スタジオパークからこんにちは」でMCを務めた。現在連続テレビ小説「なつぞら」出演中。ニッポン放送 毎週日曜日「戸田恵子オトナクオリティ」ではパーソナリティを務めている。講演会講師としても多くの依頼を受け、BGブランド製作、キネコ国際映画祭でのチェアマンを務めるなど活躍の場を広げている。ダウン症児のためのエンターテインメントスクール「ラブジャックス」の支援も行っている。

アフターパーティ! (教文演劇フェスティバル交流会)

[日時] 8月31日[土] 19:00 start (18:30から受付)

[会場] ロイトン札幌 バークレスト(1F)

札幌市中央区北1条西11丁目1 ※札幌市教育文化会館から徒歩2分

[料金] 3,000円(短編演劇祭チケット所持者 2,500円) 2Drink 軽食付。※当日会場にてお支払いください。

今回の出場劇団やスタッフも参加予定の立食パーティです。演フェス参加者だけでなく、一般の方の参加も大歓迎です。ぜひお気軽にご参加下さい!

チケット情報

前売 1,500円 (当日 2,000円)

[チケット取扱] ●教文プレイガイド: 011-271-3355 ●道新プレイガイド: 0570-00-3871

※教文ホールメイトは500円引き

●札幌市民交流プラザチケットセンター: 0570-00-3871 ●ローソンチケット: 0570-084-001(Lコード 11302)

※未就学児入場不可。車椅子をご利用の方は前日までに教文プレイガイドまでご連絡ください。

教文演劇フェスティバル2019 ワークショップ

今年のワークショップは一味違う!? 演劇をやったことがない人から経験者まで、幅広くカバーした内容で実施します! 講師陣も札幌を中心に活躍する選りすぐりの方々や日本を代表する作家・演出家の鴻上尚史氏が参加し、超豪華。滅多に無いこの機会は見逃すな!

暁の演劇ワークショップ

「A.とりあえず戯曲書いてみるコース」

2019年7月13日[土]・20日[土]・8月18日[日]

※3日間各日 14:00~18:00

「演劇の台本を書いてみたい」「最後まで書けない」「書いても演じてくれる人がいない」今回はそんな方々を対象にした、まずは台詞を書いてみるといったワークショップです。

会場 | 札幌市教育文化会館 研修室403
講師 | 南参(yhs代表・脚本家・演出家)
対象 | 戯曲を書いたことがない、または経験が少ない初心者
定員 | 10名
受講料 | 2,000円

募集
終了

暁の演劇ワークショップ

「B.とりあえず演じてみるコース」

2019年8月3日[土]・24日[土]・25日[日]

※8月3日、24日 14:00~18:00 25日 18:00~21:00

発声や表現方法、ゲームなどを通じ、演劇の基礎や演じることの楽しさを体験します。

会場 | 札幌市教育文化会館 練習室・研修室
講師 | 前田 透(劇団「アトピー」代表・脚本家・演出家・舞台俳優)
深浦 佑太(チキンレーダー・ベース、プラスマダイバーズ所属・舞台俳優・脚本家・演技講師)
対象 | 演技・役者経験の少ない初心者
定員 | 15名程度
受講料 | 2,000円

募集
終了

※8月27日[火]に各ワークショップの合同発表会を大ホールで行う予定です。(一般の方向けの公開は行いません)

暁の演劇ワークショップ

鴻上尚史氏「役者のためのワークショップ」

2019年8月17日[土] 14:00~21:00

18日[日] 13:00~21:00

「正しい発声とは何か?」「身体を意識するとはどういうことか?」など表現と密接に関係している基本的な事から、演技の基礎知識、演技力向上のための各種エチュードなどのカリキュラムを2日間で行います。演技力をアップしたい、演技の基礎を身につけたい、「こえ」と「からだ」を使った表現に関心があるという方、是非ご参加下さい!

会場 | 研修室 401
講師 | 鴻上尚史(作家・演出家)
定員 | 20名程度
受講料 | 15,000円



撮影:Yuki Sugiura

鴻上尚史 [作家・演出家]

1981年に劇団「第三舞台」を結成し、作・演出を手がける。現在はプロデューサーユニット「KOKAMI@network」と若手俳優を集め旗揚げた「虚構の劇団」での作・演出を中心に活動。舞台公演の他には、エッセイスト、小説家、テレビ番組司会、ラジオ・パーソナリティ、映画監督など幅広く活動している。



ツイッター公式アカウント
@en_fes 絶賛つぶやき中



Facebook
「教文演フェス2019」情報更新

教文演劇フェスティバル2019 公式ホームページ

WEB
<https://www.kyobun.org/enfes2019/>

[会場]

札幌市教育文化会館

札幌市中央区北1条西13丁目

[交通機関]

◎地下鉄/東西線「西11丁目」駅(1番出口)から徒歩5分

◎JRバス・中央バス/「北1条西12丁目」バス停から徒歩1分 ◎市電/「西15丁目」から徒歩10分

※お客様用駐車場はございません。車でお越しの際は、お近くの有料駐車場をご利用ください。

[お問合せ]

札幌市教育文化会館 事業課

TEL 011-271-5822 FAX 011-271-1916 [電話受付時間 10:00~17:00] 原則第2第4月曜日